PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

03-269732

(43)Date of publication of application: 02.12.1991

(51)Int.Cl.

G06F 9/445 G06F 13/00

(21)Application number : 02-068386

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing:

20.03.1990

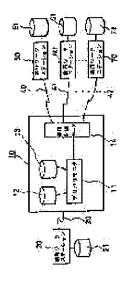
(72)Inventor: TAKAHASHI ETSUO

(54) PROGRAM MANAGING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To surely deliver newly developed or remodeled programs to the users of programs by providing a server machine which has a duty to deliver the programs for work stations.

CONSTITUTION: Programs newly developed or remodeled in a developing work station 20 are transferred to a program file 12 in the server machine 10, and the names of programs stored in the program file 12 and the network addresses of execution work stations 50 to 70 where programs are used are entered in a work station list file 13. A delivery monitor 11 reads-in the work station list file 13 and transfers the programs stored in the program file 12 to the disk 51 (or 61 or 71) of the execution working station 50 (or 60 or 70) as the delivery object through a communication control monitor 14. The programs of the latest version are automatically delivered to the execution working stations requiring them.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection

Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection

[Date of extinction of right]

69 日本国特許庁(JP)

00 特許出願公開

平3-269732 ⑫ 公 開 特 許 公 報(A)

Solnt. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❷公開 平成3年(1991)12月2日

G 06 F 9/445

305 F

7629-5B 7927-5B

G 06 F 9/06

420

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

69発明の名称

プログラム管理方式

②特 顧 平2-68386

顧 平2(1990)3月20日 22出

②発 明者 悦 男

東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

日本電気株式会社 の出 頭 人

東京都港区芝5丁目7番1号

弁理士 後藤 洋介 外 2名 794代理 人

明

1. 発明の名称

プログラム管理方式

2. 特許請求の範囲

j) ウークステーション用のオブジェクトプロ グラムを格納するプログラムファイルと、 前記オ プジェクトプログラムを実行するワークステーシ ョンの通信ネットワーク上のアドレスが記録され るワークステーション一覧ファイルと、ワークス テーションとの間に通信路(セッション)を開設 する通信制御モニタと、前記ワークステーション 一型ファイルを読み込んで該一覧ファイルで示さ れるワークステーションに対し前記プログラムフ ァイル中の前記オブジェクトプログラムを前記セ ッション経由で転送するデリバリモニタとを有す るサーバマシンを有し、該サーバマシンに前記通 信ネットワークを経由して複数のワークステーシ ョンを接続して成るプログラム管理方式。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明はコンピュータ、特にワークステーショ ンのプログラムの管理方式に関する。

「従来の技術」

従来、ワークステーションのプログラムの配布 は、プログラム提供者からの新規関発又は改造の 連絡を受けると、当該プログラムの利用者が、ブ ログラム提供者に要求をして当該プログラムをC GMT又はフロッピー等の媒体で受け取る方法が とられていた。

「発明が解決しようとする課題]

上述した従来のワークステーションのプログラ ム管理方式は、プログラムの利用者が新規開発又 は改造の行われたプログラムを提供者に対して申 告することで当該プログラムの配布が行われる。 この場合、プログラム利用者がプログラム提供者 からの通知に気が付かないならば,いつまでも古 い版数のプログラムを使い続けてしまうという欠 点がある。特に、古い版数のプログラムに致命的

特開平3-269732(2)

なバグがある時には大きな問題を引き起こす事は 必然である。

[課題を解決するための手段]

本のサークを経出している。というでは、フータを発明のオインのではなかり、おいて、カークを表している。というでは、フーターを発生している。というでは、フークのでは、フークのでは、フークのでは、フークのでは、フークのでは、フークを表している。というでは、カーのでは、フークを発出している。というでは、フークを発出している。というでは、フークを発出している。というでは、フークを発出している。というでは、フークを発出している。

[実施例]

次に本発明について図面を参照して説明する。 第1図は本発明の一実施例のブロック図である。

タ14に指示する。通信制御モニタ14は通信回線40~42でサーバマシン10に接続されている実行ワークステーション50、60、70の中から前記ネットワークアドレスを持つものを呼び出し、該実行ワークステーションとの間にセッションを開設する。

開発ワークステーション20で新規開発又は改造されたプログラムは、開発者の手により該開発ワークステーション20に接続されたディスク21から通信回線30を経由してサーバマシン10中のプログラムファイル12に転送される。

次に、前記開発者はワークステーション一覧ファイル13に、プログラムファイル12に格れたプログラムの名称とはプログラムが使用アドンの表すりの表がした。 でこれを記しているのフォーマー 説明 化プログラステーション 一覧 ファイル13のフォーマー 説明 化プログラムの配布を記入が終了ログラムの配布を指示する。

デリバリモニタ11はワークステーション一覧ファイル13を読み込み、該一覧ファイル13で示される前記ネットワークアドレス (回線番号)を持つ実行ワークステーション50.60,70との通信路 (セッション) の確保を通信網額モニ

転送処理を行う。

第2図は第1図におけるワークステーション一覧ファイル13のフォーマットを示している。第2図において、プログラム名エリア1にはプラム・カンテムを配布を出ているプログラムを配布を出すて11~1ヵには対応プログラムを配布すべき実行ワークアドレススはション50~70の通信ネットワークアドレクススの回答を引いて、一つの転送があった。一つのでは対応する。一方、転送マーテンとのでは対応する。では対応である。最近では対応では対応である。最近では対応では対応である。最近に対して、このでは対応では対応である。

[発明の効果]

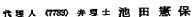
以上説明したように本発明によれば、プログラムファイル中のワークステーション用プログラムの配布を任務とするサーバマシンと該プログラムの実行ワークステーションとを通信ネットワークで結び、前記サーバマシンは前記プログラムの配

布先が記録されているワークステーション一覧ファイルの内容に従って前記プログラムを前記通信ネットワーク経由で各実行ワークステーションに転送することにより、最新版のプログラムを必要とする実行ワークステーションに翻れなく該プログラムを自動的に配布できる。

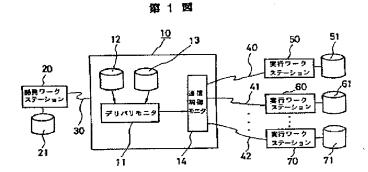
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例プロック図, 第2図は第1図におけるワークステーション一覧ファイルのフォーマットを示している。

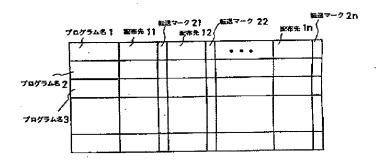
図中、10はサーバマシン、11はデリバリモニタ、12はプログラムファイル、13はワークステーション一覧ファイル、14は通信制御モニタ、20は開発ワークステーション、21はディスク、50、60、70は実行ワークステーション、51、61、71はディスク。







第 2 图



			AND
	y m		